



入善町立
入善小学校

校長：笹島 久

指導教諭：石原 裕美
高瀬 真也

発表児童：6年生(15名)



本校は、明治6年に「入膳小学校」として創校した歴史ある学校です。「豊かな心とたくましい体を持ち、自ら考え実践する子供を育てる」ことを学校教育目標に掲げ362名の児童が学んでいます。

校区は黒部川の右岸で扇状地の中央部に位置し、北は海に面し「じょうべのま」遺跡や海底林があります。かつては伏流水が湧き出て沢をつくっていましたが、基盤整備などですっかり姿を変え、いくつもの企業が豊富な水を頼りに進出しています。

発表テーマ

扇状地をつくる水、育む水

かつては暴れ川であった黒部川は、先人の努力のおかげで洪水もなくなりました。沢スギ、庄助川、清水川などを調査し、わかったかつての姿や、そこでみつけた未来に残したいものなどを発表します。

石原 裕美 先生より

黒部川扇状地を学び、環境保全に目を向けながら郷土のよさを生かす子供たちに

「わあー、ドジョウだ！」「えー！これがマシジミ！」5月、中俣用水に入った時の子供の歓声とキラキラ光る瞳。町の中心街に住む子供たちにとって、初めての体験だった。自然や環境保全の大切さを感じるのに言葉や理屈はいらない。川にすむ生き物が身をもって教えてくれるのと、子供の知的好奇心(自然の仕組みや現状を説明する)を少しくすぐるだけで十分だと思う。

同様に庄助川で、「湧き出る水源地の水」を見て、そのきれいさに感動し、小鳥のさえずる沢スギ林内のすがすがしさに思わず「空気がおいしいね。」と言った子供たち。子供たちのすむ黒部川扇状地には、扇状地ならではの自然がある。今回の学習を通してかつての姿と今を知り、将来この地で生きる子供たちが、そのよさを生かしてくれることに期待をしたい。



考えたこと! 感じたこと!

川と生き物

百石 彩織 (6年生)

私は川と生き物のつながりについて調べました。これまで私は、一つの生き物がいなくなっても、それだけだと思っていました。しかし、この学習を通して、それは大きな間違いだと気づきました。カワニナがいなくなるとそれを食べているホタルの幼虫が生きていけません。さらに、幼虫を食べている生き物も生活できず、いなくなってしまうのです。このように、生き物はみんなつながっていることを学びました。

つながりあう川と生き物

鈴木 真実 (6年生)

この学習をして分かったことは、川の生き物のはたらきです。カワニナは清水川のゴミを食べてきれいにしているのです。カワニナがいなくなったら清水川はどんどん汚れてしまうのです。

調べて驚いたことは、マジミのいない殻が多くあり、砂が入っていたり小さな知らない生き物のすみかになっていたりしているの、マジミが死んでも、その殻でさえ生かされていく生き物のつながりの世界でした。

生き物を人間の手で絶滅させないために、汚さない努力をしていきたいです。



▲中俣用水・清水川
中俣用水にて講師の先生に川の生き物の説明を聞く。



▲庄助川
生き物や植物採取で川環境を調べている。



▲沢スギ探検
沢スギ林の川 コンコンと湧水が出てながれている。



▲沢スギ林のどんな所に黒部川の旧河道の証拠があるのだろうか。



▲高瀬地区の掘り抜き井戸
水温やバクテクトンをして水質調査をしている。

学習テーマの設定

偉大な先人との出会い

入善の歴史を学ぶなかで、あばれ川だった黒部川の治水を進めるため、明治時代に富山県を石川県から分県させた偉大な人・米沢紋三郎さんに出会い、黒部川扇状地を流れた川について調べることになりました。

扇状地をつくる水はくむ水

入善町立入善小学校 6年生

古黒部地区の清水川・中俣用水



テーマを決め学習を進める
3本の川を調べて興味のあるテーマを決めて学習を進めました。1つめは清水川を中心に「ホタルや生き物のすみ環境」、2つめは沢スギを中心に「杉沢の生き物たち」、3つめは湧水を中心に「水」です。

学習の展開

生き物でいっぱい川

清水川には見たこともなかった生き物がいっぱいいます。なかでもホタルの幼虫はきれいな環境でしか生きられません。ホタルがすめる環境を守るには、川にゴミを捨てないなど、すぐできることがあります!



沢スギの特徴



スギの生きる知恵に驚き
沢スギ林では、スギとスギがつながる「伏条更新」など、自然の不思議なしくみを調べました。酸素が多く年中水温が一定の湧水とのかかわりなど、環境に合わせて生きるスギの知恵と生命力を感じました。

川や環境を守る生き物たち

川と生き物の関係をエサを通して調べると、生き物たちは生きることで川をきれいにし環境を守っているのわかりました。人のつごうだけで川を変えず、すべての生き物について考えられるようになりたいな…。



川と生き物のかかわり

私達の家の横に流れている青島用水はどこから来ているか?



さまざまに生かされる水
黒部川の名水は、上流や扇状地に降る雨や雪、水田から地下にしみこんだ水を地層がきれいになっています。川から用水で引いた水は、田んぼや生活、工場で使い、扇状地の勾配を利用して発電所もつくられました。

豊かな水があるから…

扇状地の水は、冷たくおいしく、多くの生き物を支え、発電で暮らしを豊かにします。ときどき洪水で苦しめるけれど、黒部川扇状地はこの水があったから生まれ、この水があるから生活できる…水は宝物です。

